

自分でできることが増える喜びを

個別機能訓練と 生活リハビリテーション

「できることまで奪わない」が横浜エデンの園の信条です。入居する前は家で寝たきりだった人が、個別機能訓練や生活リハビリテーションを通じて、自分でできることが増えていくこともあります。「やってみたらできちゃった」。ご入居者にとっても、職員にとっても、何より嬉しい瞬間です。

ご入居者一人ひとりに合わせた 理学療法士による個別機能訓練

横浜エデンの園では、理学療法士の資格を持つ機能訓練指導員を1名配置し、ご入居者一人ひとりの能力に合わせた訓練メニューをマンツーマンで実施しています。歩行器を使った歩行練習、屋内外での散歩、リカンベントエルゴメーター(自転車こぎ)を使った筋力や持久力のアップなど、ご家族の希望、ご本人の意欲、専門職から見たリハビリの必要性を踏まえて、リハビリの内容、回数等を設定します。

生活の中で、ご入居者ができることを増やすこと、見つけていくことが私の役割です。



理学療法士 小川 圭



歩行訓練



リカンベントエルゴメーター

「できることまで奪わない」生活の中で行う動作をリハビリに



ケアサービス課 富安 章

手伝い過ぎないことが大事です。

生活する上で必要な動作(立つ、座る、着替え、食事、歯磨き、入浴、トイレなど)を、介護職員が付き添いながら実施するのが生活リハビリテーション。

ご本人に何ができるのか、何が一人だと

難しいのかを見極めてお手伝いする。手伝い過ぎないことが大事です。入浴を例にあげると、浴槽をまたぐことはできなくても体を洗うことはできるご入居者には、リフト浴を使いつつ、それ以外の部分はご自身で行うように促します。食事についても、認知症の方であれば、器の大きさや形、色を試行錯誤しながらその方に合った器を探します。理学療法士と介護職員とで相談しながら、どうすればご自身で食べられるようになるかを常に考えます。



例

歩行練習を重ねて、自分で少しでも歩けるようになったら、食事席までの移動は、介護職員のサポートを受けて本人の力で歩くことを勧めます。

…個別機能訓練

…生活リハビリ